

出会いのコレクション

～東由木地区公園の動植物図鑑～

『ひとまちみどり由木』が管理する81ヶ所の公園には、多様な動植物が暮らしています。このコーナーでは、管理作業や巡回の折に出会った動植物について、その際に撮影した写真とともにご紹介していきます。

東中野・大塚地区



キイトンボ

天野谷戸公園内の調整池で、キイトンボを確認しました。八王子全体で見ればそれほど珍しい種類ではありませんが、東由木地区ではめったに見かけません。近付くとすぐに逃げてしまうのですが、飛ぶのが遅く、まるでドローンのようにゆらゆら動きながら移動していく様は、とてもユーモラスです。



カワラバッタ

午後の巡回清掃中に、常盤公園の広場で非常に珍しいバツタを見つけました。地上に止まっているときには石ころそっくりですが、飛び立つと目の覚めるようなブルーの翅が美しい、カワラバッタです。多摩川中流域に分布が限られており、東京都では全域で絶滅危惧IA類に指定されているそうです。公園の近くを流れる大栗川を伝って、本流の多摩川からはるばるやってきたのでしょうか？

大塚地区の一角に位置する竜ヶ峰公園は、坂の上という立地もあり、たくさんの方が訪れるような公園ではありません。しかしながら、その静けさを利用して暮らしている生き物がいました。公園内の植え込みで回収された巣は、特定外来生物に指定されているガビチョウのものです。卵を産んだあとに、何らかの理由で放棄されたと思われる。卵がこんなに美しく目立つ色をしていて大丈夫なのか、心配になりますね。



ガビチョウの卵

モノレール沿線にある傘平緑地で植栽の手入れをしていると、生垣の向こうから「ミャオン」と聞き慣れない声がありました。覗いてみると、顔が真っ白の子犬のような動物が座ってこちらを見ていました。慌ててカメラを取りに行くと、立ち上がったこちらの様子を気にしながら排水弁へと潜り込んでいきました。法面のU字溝や緑地を伝うようにして生活する、珍しい色変わりのホンダタヌキとの予期せぬ出会いでした。



ホンダタヌキ

松が谷・鹿島地区

この辺りでは数回の確認例しか記録の無い珍種、ホソミイトンボを草刈り中に見つけました。場所はいせまいり公園内に植えられたメタセコイヤの根元です。こんな環境でイトンボの仲間に出会うとは思いませんでしたが、羽化した後、成虫は水辺から離れて草の茂みなどを放浪するそうです。大塚西公園の池や松が谷遊歩道沿いのせせらぎなど、近隣の水辺に発生源があるのかもしれませんが。



コゴメイヌノフグリ



ホソミイトンボ

大塚西公園や望地公園の周辺の道ばたにおいて、ここ数年で急速に増えている外来植物、コゴメイヌノフグリを紹介します。オオイヌノフグリにそっくりですが、花はやや小ぶりで純白です。アスファルトの隙間や植え込みの中にびっしりと繁茂する姿を見る限り、今後もさらに増えていくのではないかと予想されます。